

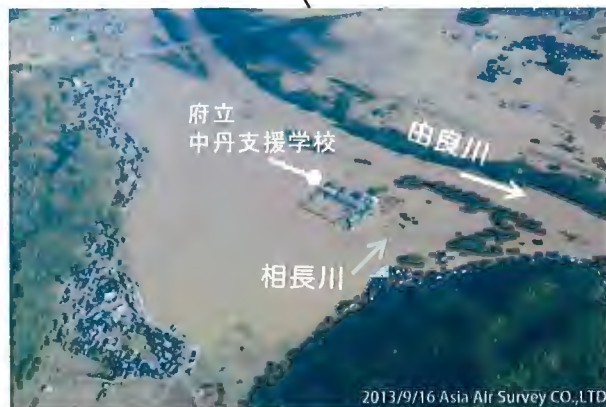
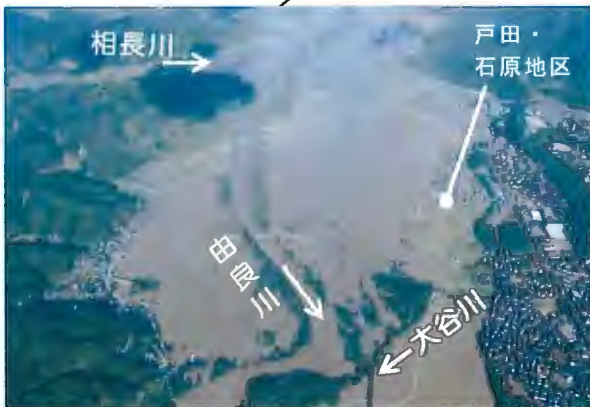
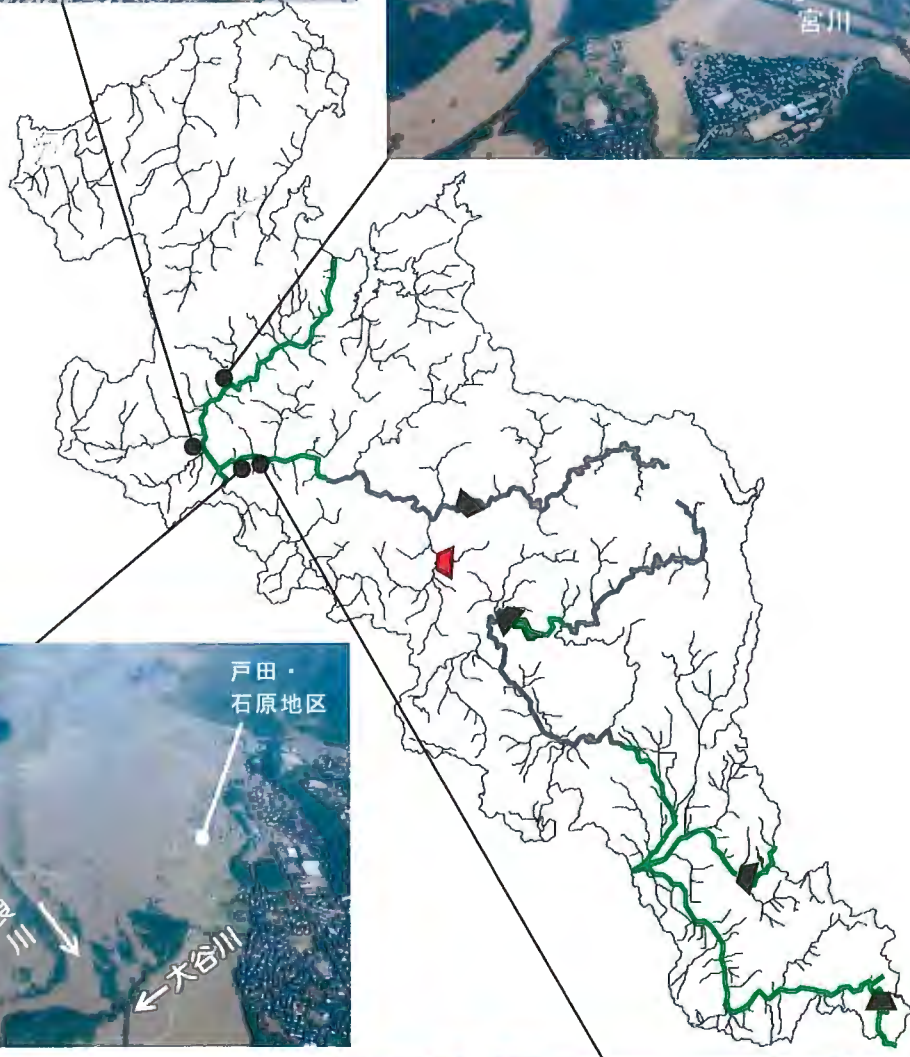
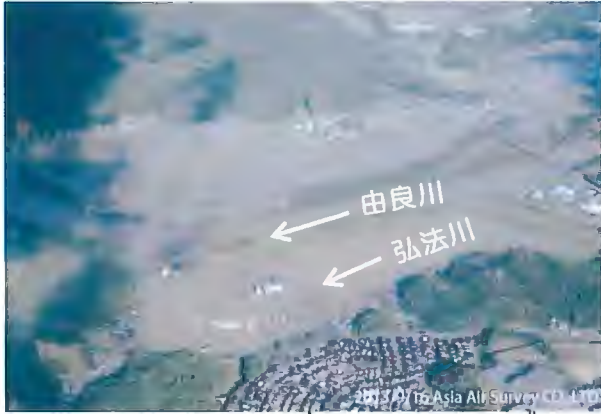
平成25年 台風第18号災害時の保健所活動



出典：国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所

平成26年3月
京都府中丹西保健所
(中丹広域振興局健康福祉部)

福知山市の浸水被害



発刊にあたって

「天災は忘れた頃にやってくる」から「災害はいつ起こってもおかしくない」という時代になったとつくづく昨年は思い知らされました。

近年の当地における大きな水害被害は、昭和28年の13号台風、その50年後の平成16年の23号台風、そして今回の平成25年18号台風です。今回は前回台風の9年後の被害となりました。こんなに早く当地に被害をもたらす台風が発生すると思われている方は、少なかつたのではないかと推察します。

そして、昨年台風は18号だけではなく、10月に伊豆大島等を襲った台風26号、11月にフィリピン等東南アジアで猛威を振るった台風30号など、発生から本当に早く、あるいは警報等が出されてから短時間で被害をもたらしました。これらのことから「災害はいつ起こってもおかしくない、従って事前準備が必要」と強く感じています。

この度の平成25年18号台風被害に対して、我々中丹西保健所職員は、「福知山市北部保健福祉センターの機能回復支援」「消毒・防疫」「健康調査」などを福知山市や京都府の職員等と共に取り組みました。そのような中で何と言ってもボランティアの方々や他府県自治体からの支援は有り難く心強かったです。そしてこの度、対応等を記録として残し、今後、万が一の災害が発生した時の参考とするため、対応時間や概要、使用した資料、我々が感じた課題や対策などをまとめました。

皆様方の危機管理の一助として頂きたく、又、ご意見等を頂ければ幸いです。

最後に改めまして被害にあわれました皆様方へのお見舞い、一刻も早い復旧、そして災害に強い地域づくりを皆様方とともに推し進めていくことを誓いまして発刊にあたっての挨拶と致します。

平成26年3月

京都府中丹西保健所長 廣畑 弘

目 次

第1章 気象概況	1
第1 台風第18号の概要	1
第2 大雨の状況	2
第2章 被害概況	4
第1 京都府内の被害概要	4
第2 福知山市の被害	5
第3章 公衆衛生対策	6
第1 要配慮者等への支援	6
第2 健康調査	6
第3 消毒・防疫	12
第4章 復旧対策	14
第1 機能回復	14
第2 ボランティアによる支援	16
第3 各種支援	17
第5章 課題・対策	18
資料編	19
1 様式、リーフレット	19
2 災害記録写真	34
3 新聞記事	37

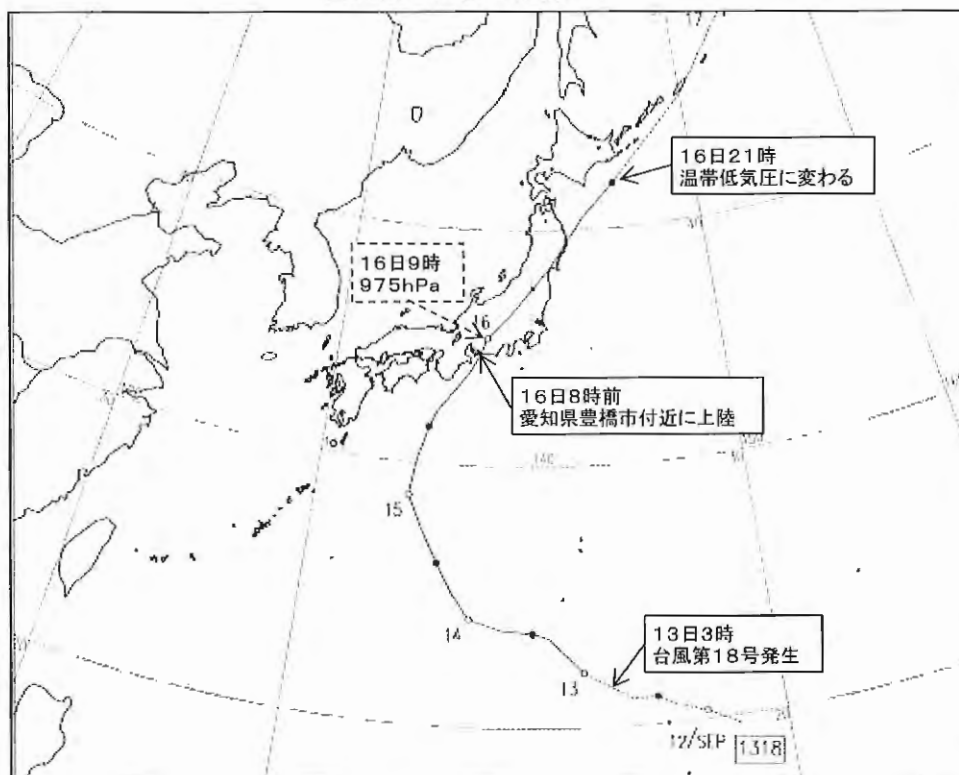
第1章 気象概況

第1 台風第18号の概要

平成25(2013)年9月13日3時に小笠原諸島近海で発生した台風第18号は、発達しながら日本の南海上を北上し、14日9時に強風域の半径が500kmを超え大型の台風となり、15日18時には暴風域を伴った。

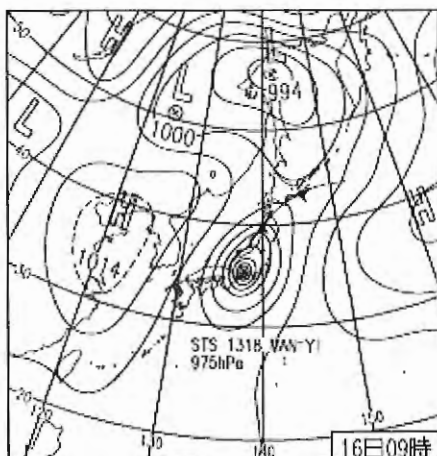
台風は、その後も北上を続け、潮岬の南海上を通り、16日8時前に愛知県豊橋市付近に上陸した。その後、台風は速度を速めながら東海地方、関東甲信及び東北地方を北東に進み、16日21時に北海道の東で温帯低気圧となった。

台風第18号の経路図

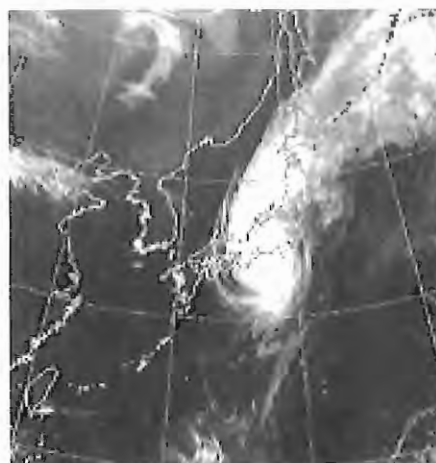


※経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置を示す。

天気図 9月16日9時



衛星赤外画像 9月16日9時



出典：気象庁

第2 大雨の状況

台風の接近・通過に伴い、日本海から北日本にのびる前線や、台風周辺から流れ込む湿った空気、台風に伴う雨雲の影響で、四国から北海道の広い範囲で大雨となった。

また、台風や台風から変わった温帯低気圧の影響で、九州から北海道の各地で暴風となり、和歌山県、三重県等では竜巻等の突風が発生した。

9月15日から16日までの総雨量は、近畿、東海地方を中心に400mmを超え、特にその地域では過去に経験したことのないような大雨となった京都府、滋賀県、福井県では、同年8月30日の運用開始後、初めて特別警報が発表された。

9月15日から降り始めた雨は、長時間にわたり降り続き、由良川流域の全区域に平均300mm以上に及ぶ総雨量をもたらせた。

総雨量は平成16年台風23号に匹敵する規模であったが、降雨の傾向は昭和28年台風13号に近く、比較的上流部からの流下が多かった。支川の土師川も長時間高水位が続いた。

雨量と比較して河川水位の上昇が激しかった原因は、由良川流域の広い範囲で1時間20mm～30mm程度の雨が長時間降り続いたためと思われる。

1 中丹管内の雨量等

(1)累加雨量

主な測定箇所	累加雨量	降雨時間
松尾（舞鶴市松尾）	489mm	15日 4:20～16日 14:00
古和木（綾部市故屋岡町）	436mm	15日 4:10～16日 13:00
台頭（福知山市三和町）	312mm	15日 3:50～16日 13:00

(2)時間雨量

主な測定箇所	時間雨量	降雨時間
空山（舞鶴市観音寺）	58mm	15日 19:00～20:00
松尾（舞鶴市松尾）	48mm	16日 0:00～01:00
古和木（綾部市故屋岡町）	41mm	15日 0:00～01:00

※記録的短時間大雨情報 9月15日21時 京丹後市丹後付近で約100mm

(3)水位の状況

はん濫危険水位を超過した河川（中丹地域の観測所）

箇所	最大水位	超えた日時	はん濫危険水位
由良川（綾部）[綾部市]	7.45m	16日 3:00～14:00	6.00m
由良川（福知山）[福知山市]	8.28m	16日 4:00～17:00	5.90m
犀川（新庄）[綾部市]	2.80m	16日 2:00～ 7:00	2.60m
伊佐津川（二ツ橋）[舞鶴市]	3.17m	16日 2:00～ 6:00	2.90m

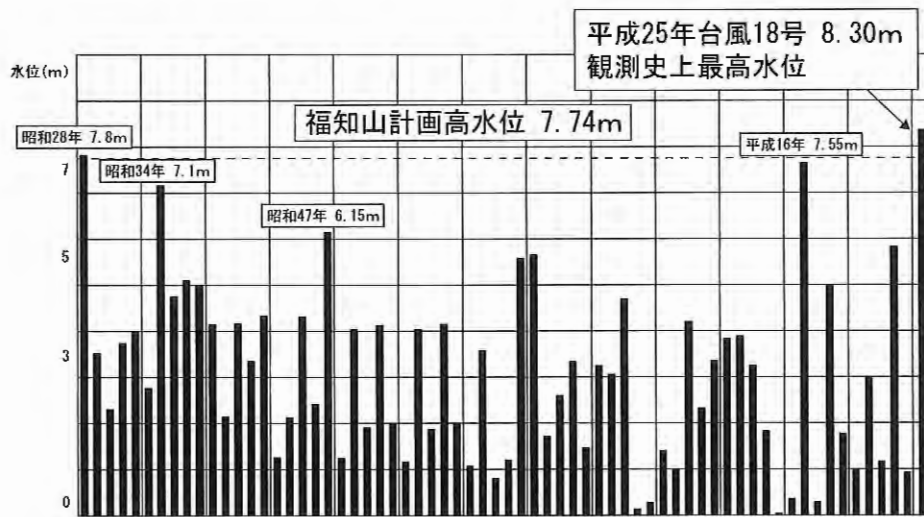
出典：京都府災害対策本部

2 福知山市の雨量等

(1)総雨量等（9月15日から16日）

- 最低気圧 96.5 hPa
- 総雨量 216 mm（福知山雨量観測所）
- 時間最大雨量 29 mm/h（15日午後7時）
- 最高水位 8.3 m（福知山水位観測所（寺町））（16日午前8時） ※計画高水位7.74m

(2)出水の概要 (過去の洪水との比較) 出典：国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所



福知山地点の年最高水位 (昭和28年～平成25年)

(3)福知山市の気象状況

日	降水量 (mm)			気温 (°C)			風向・風速 (m/s)					
	合計	最大		平均	最高	最低	平均風速	最大風速		最大瞬間風速		最多風向
		1時間	10分間					風速	風向	風速	風向	
15日	144.5	29.5	7.5	22.7	26.5	21.2	1.5	4.6	北	8.6	北	北西
16日	81.5	17.5	4.0	21.7	25.9	16.1	4.1	9.9	北北西	20.2	北北西	北北西

出典：気象庁

3 主な経過等

- 9月15日(日) 16:26 大雨洪水注意報
- 19:15 大雨警報【中丹広域災害警戒支部1号配備】
- 22:30 広域避難所 (由良川流域) 13箇所 開設 (自主避難)
- 23:06 洪水警報
- 9月16日(月) 00:00 広域避難所等 全57箇所 開設
- 00:40 由良川はん濫注意水位 4.0m 超過
- 01:10 避難準備情報発令
- 01:50 由良川避難判断水位 5.0m 超過
- 02:20 避難勧告発令 (由良川流域)
- 02:50 【中丹広域災害対策支部2号動員】
- 03:10 由良川はん濫危険水位 5.9m 超過
- 05:05 大雨特別警報
- 05:17 大雨 (土砂災害) 警報
- 05:40 大雨特別警報伝達、避難指示 (市全域 由良川水位7m超過 5:10)
- 08:10 由良川水位最高値 8.3m ~8:40まで
- 09:58 大雨特別警報 解除
- 13:39 大雨警報 解除
- 17:30 【中丹広域災害対策支部1号動員】
- 16:40 由良川はん濫危険水位 下回る
- 19:39 洪水警報 解除
- 19:40 避難指示 解除 (遷喬・大江町以外)
- 9月17日(火) 17:00 全広域避難所 閉鎖

第2 福知山市の被害

1 概要

福知山市では大江町、石原・戸田地区を中心に約800棟が浸水し、福知山市役所大江支所やKTR大江駅なども一階部分が浸水した。大江支所では職員10人が2階に避難し、水量の増加で一時孤立した状況が続き、石原地区では消防署員がボートを使い家屋に取り残された人の救出活動等をした。

人的被害はなかったものの、家屋被害、土砂被害、河川・道路被害、農業被害など福知山市に甚大な被害をもたらした。

2 被害状況

(1)人的被害

- ・なし

(2)住家被害

- ・全壊2棟、半壊309棟、床上浸水432棟、床下浸水356棟

(3)土砂崩れ

- ・民家の裏山など 9件

(4)河川道路被害

- ・河川 府23箇所(128,532千円)、市23カ所(73,118千円)
- ・道路 府11箇所(49,049千円)、市10カ所(30,395千円)

(5)農業関連

- ・農地(被災面積) 約78ha
- ・農業用施設(揚水機・農道・水路・頭首工等) 214箇所
- ・田畑の冠水面積 約650ha

(6)施設等の浸水被害

A 社会福祉施設等

名称	地区	定員	被害状況
小規模特別養護老人ホーム橘	三和	29	駐車場フェンスの倒壊 避難なし
わかば保育園	戸田	110	床上浸水 休園時の被災のため避難なし
ミストラルもえぎの里	戸田	13	床上浸水(約150cm) 避難なし(被災時無人)
ケアハウスとだ	戸田	20	床上浸水(約150cm) 事前に市内他施設に避難
グループホームとだ	戸田	18	床上浸水(約150cm) 事前に市内他施設に避難
げん鬼保育園	大江	100	床上浸水 休園時の被災のため避難なし
大江作業所	大江	20	倉庫の床上浸水 避難なし

B 医療機関

名称	地区	被害状況
新大江病院	大江	リハビリ室床上浸水(約10cm)
新大江病院附属有路診療所	大江	床上浸水(約1m) *医療機器使用不能(26年4月再開予定)
吉河医院	大江	床上浸水(約1m) *診療機器全滅(9月25日から一部診療再開)
ましも歯科医院	大江	床上浸水(約1m) *9月24日から診療再開

第3章 公衆衛生対策

第1 要配慮者等への支援

9月16日中丹広域災害対策支部2号動員に伴い中丹西保健所保健室3名が出動し、人工呼吸器患者等の安否確認を電話で行った。

難病患者等の状況把握

- 人工呼吸器患者（3名） 9月16日 15:00現在
 - ・小児慢性特定疾患（1名） 9月16日 15:00 市民病院に一時避難
 - ・難病患者（1名） 在宅で様子見（家屋、体調問題なし）
 - ・障害者（1名） 在宅で様子見（家屋、体調問題なし）
- 人工呼吸器患者を含む難病患者等37名について、16日、17日に電話連絡し、33名の安全を確認（不通の4名は浸水地域以外に在住）

第2 健康調査

福知山市から要請を受けた関係機関の保健師等は、甚大な浸水被害を受けた住民に対して、健康状態や生活の被害状況を把握し、必要な支援を行うことを目的に健康調査を行った。

<概要>

- ・調整 9月18日に本庁、保健所、福知山市で災害支援について協議
9月19日、20日は大江地区被災地域の自治会長27名を訪問し、協力依頼
- ・実施期間 9月24日(火)～9月28日(土)
- ・内容 衛生状態・健康状態の聞き取り、血圧測定等
- ・体制 保健師10名（中丹西保健所4名、府健康福祉部6名）を基本として支援

9月24日(火)	12名（中丹西保健所4名、府健康福祉部8名）
9月25日(水)	11名（中丹西保健所4名、府健康福祉部7名）
9月26日(木)	9名（中丹西保健所3名、府健康福祉部6名）
9月27日(金)	9名（中丹西保健所4名、府健康福祉部5名）
9月28日(土)	8名（中丹西保健所2名、府健康福祉部6名）
合計	49名（中丹西保健所17名、府健康福祉部32名）

- ・対象地域 大江、戸田、下天津地区の約1,000世帯（床上・床下浸水）

・訪問実績	9月24日(火)	103件（在宅66件、不在37件）【大江】
	9月25日(水)	99件（在宅68件、不在31件）【大江】 72件（在宅45件、不在27件）【戸田、下天津】※市と合同
	9月26日(木)	82件（在宅53件、不在29件）【大江】 150件（在宅92件、不在58件）【戸田、下天津】※市と合同
	9月27日(金)	46件（在宅32件、不在14件）【大江】 31件（在宅24件、不在7件）【戸田、下天津】※市と合同
	9月28日(土)	148件（在宅76件、不在72件）【戸田、下天津】※市と合同
	合計	731件（在宅456件、不在275件）
	【大江】	330件（在宅219件、不在111件）
	【戸田、下天津】	401件（在宅237件、不在164件）

- ・その他 9月28日で大江地区の健康調査がほぼ一巡
9月30日～10月4日は中丹西保健所1名が訪問以外の後方支援
9月30日以降、福知山市と協定4市（朝来、篠山、養父、丹波）の保健師による訪問継続



訪問前のオリエンテーション



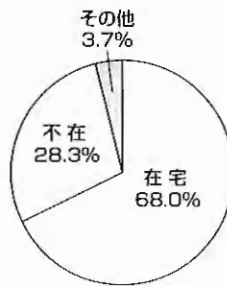
訪問先へ向かう保健師

■大江地区健康調査の結果

全訪問件数 325件

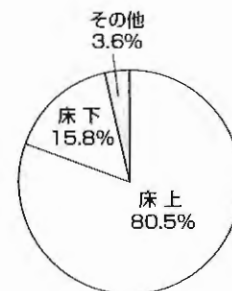
①訪問先の在宅状況 (全 325件)

在宅 221件 (68.0%)
不在 92件 (28.3%)
その他 12件 (3.7%)



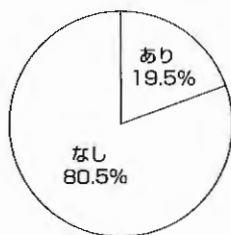
②家屋の被害状況 (在宅 221件)

床上浸水 178件 (80.5%)
床下浸水 35件 (15.8%)
被害なし 8件 (3.6%)



③健康状況 (在宅 221件)

症状あり 43件 (19.5%)
症状なし 178件 (80.5%)



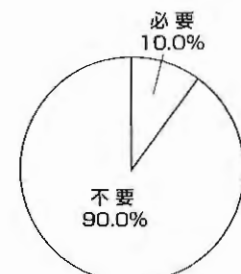
【有症状の内容】

- ・下痢、腹痛など消化器症状
- ・咽頭痛、咳など上気道症状
- ・家屋の片付けによる怪我、転倒、腰痛、膝痛及び極度の疲労感
- ・家屋や家財等が水没したことの喪失感
- ・2mを越す浸水の恐怖心、子どもへの影響
- ・今後の生活の不安から精神的不安定
- ・自治会長等中心的な人の疲労困憊、治療中断

④フォロー状況 (在宅 221件)

フォロー必要 22件 (10.0%)
フォロー不要 199件 (90.0%)

※高齢者家庭、障害者など



台風18号被害健康調査応援保健師の準備等について

平成25年9月19日
中丹西保健所保健室

- 1 健康調査期間・体制
9月24日(火)～10月5日(土) 11日間 (29日をのぞく)
9時から16時(予定)
保健師10名体制(中丹西保健所4名 応援保健師6名)
- 2 健康調査地域
大江町被災地域
- 3 健康調査対象
床上床下浸水世帯 約500世帯
- 4 健康調査内容
衛生状態、健康状態の聞き取り調査、血圧測定など健康調査票により調査実施
- 5 集合場所
中丹西保健所
- 6 集合時間
9時
- 7 服装
ズボン、長袖
- 8 持参品
訪問靴(血圧計、聴診器、枕、体温計、アルコール綿、滅菌ガーゼ、絆創膏、弾性包帯、三角巾、手袋、はさみ、毛抜き、ピンセット、消毒薬、速乾性手指消毒薬)、エプロン、メモ用紙、筆記用具、バインダー、携帯電話、名札、軍手、帽子
- 9 その他
 - ・昼食、飲み物は各自準備してください。
 - ・マスク、長靴、腕章は中丹西保健所で準備します。

<その他必要物品>

ポケットティッシュ、ゴミ袋、タオル、湿布薬、調査票、訪問地図、配布資料

■アンケート調査

～保健師等への訪問調査後アンケート結果～

(必要と感じた情報や物品)

- ・カーナビと訪問用公用車、自転車、バイク
- ・リュック型の訪問かばん、訪問用携帯血圧計
- ・スタッフ連絡先が登録してある携帯電話
- ・災害関係各相談窓口、連絡先
- ・地域の医療機関マップ、稼働状況
- ・保健・福祉・医療サービス等関係機関の連絡先
- ・避難所情報
- ・湿布や消毒薬など医薬品
- ・指導のためのリーフレット（色別で効率的）
- ・要配慮者の情報
- ・地域の地図

台風18号被害健康支援アンケート実施要領

目 的	<p>本年9月15日から16日にかけて京都府を襲った台風18号により、府北部は複数の市町が甚大な被害を受けた。とりわけ中丹西保健所が管轄する福知山市は由良川の氾濫により、床上、床下浸水が約900件に上り、流域住民の生活は大きな打撃を受けた。</p> <p>福知山市から要請を受けた関係機関の保健師等は、甚大な被害を受けた流域住民に対して健康状態や生活の被害状況を把握するとともに、必要な健康支援を行うため、健康調査を行ったが、調査時期や方法が適切であったかを評価し、災害時の今後の保健師活動に生かすために、健康調査に参加した保健師等へのアンケート調査を実施することとする。</p>
実施主体	京都府中丹西保健所
対 象	台風18号被害健康調査に参加した京都府保健所保健師、福知山市保健師等、兵庫県篠山市・丹波市・養父市・朝来市保健師
実施時期	平成25年10月23日（水）～11月8日（金）
実施方法	京都府保健所はメールにより配信しメールにより回収 福知山市および兵庫県4市は紙ベース郵送により配布回収
実施内容	匿名（ただし所属の府県は記載する） アンケート内容は別添のとおり

台風18号被害健康調査実施後アンケート

京都府中丹西保健所

* 該当に○をつけてください。自由記載欄は自由に記載ください。

- 1 あなたの所属府県はどこですか。
①京都府 ②兵庫県

- 2 あなたの職種は何ですか。
①保健師 ②看護師 ③栄養士 ④その他

- 3 あなたが健康調査を実施した時期はいつですか。
①9月17日～9月23日
②9月24日～9月30日
③10月1日～10月4日

- 4 あなたが実施した健康調査を通して感じたことを記載してください。
(1)訪問時に感じた点(健康、衛生、防災などなんでも記載ください。)

(2)訪問に際し、必要と感じた情報や物品

(3)訪問に際し不便と感じたこと(受け入れ体制、交通手段など)

- 5 今回の健康調査の体験はあなたの災害支援の今後の参考になりますか。
①参考になった。
②まあ参考になった。
③あまり参考にならなかった。
その理由をお書きください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

保健師活動（健康調査等）の考察・まとめ

【考察】

◇初動期の体制

難病患者等については早期に避難と安否確認ができた。災害時緊急時支援事業による平時の準備が役にたった。今後さらに対象者の拡大、個別支援計画策定、機関ネットワークを進め充実していく必要がある。

また、災害対策部署及び市、関係機関から情報を集約し、速やかに所内活動体制と活動方針の確立を行うことが必要である。

◇健康調査の時期、保健指導の内容

<時期>

- ・大江地域については、被災9日目から4日間で集中的に実施できた。
- ・消毒等の情報提供の遅れ、不在家庭が多いなどの課題が残った。
- ・被災後9日目からの訪問であり少し余裕がみられた住民もあったが疲弊している住民もあった。

<保健指導の内容>

感染症・食中毒等予防啓発、全戸訪問による要支援者の掘り起こし、ニーズの集約等水害の応急対応期（フェーズ2）の対応はできたと考える。

カンファレンスで市保健師に引き継ぐことにより、緊急ケースの対応と継続支援が可能となった。

◇今回災害時保健活動を展開できた要因

- ・難病等要配慮者の災害支援計画を備えていた。
- ・本庁が早期に現地入りし、保健所、市と調整の機会を持つことにより、即時に支援方針を決定したこと。
- ・健康対策課を中心に応援保健師の派遣を決定し、調整を全面的に行ったこと。
- ・自治会長をはじめ住民の協力を得られたこと。
- ・日頃から保健所と福知山市との連携がとれていたこと。

【まとめ】

保健所は健康危機管理の地域の拠点である。市町村の災害対応支援を目的に、公衆衛生機能について再確認を行い、マニュアル整備や災害時研修などにより災害時の保健所機能強化を図る必要がある。

第3 消毒・防疫

福知山市から要請を受け、府下の保健所及び保健環境研究所の応援を得て、主に大江地区住民の家屋床下等の消毒を行った。

<概要>

- ・実施期間 9月20日(金)～9月26日(木)
- ・内容 浸水地域の家屋、家屋周辺、水路等の消毒
- ・体制 2班編成(中丹西保健所4名、他保健所・保環研10名前後)
 ※1班の体制(公用車3台、人員7名前後)
 ※福知山市は業者1班を含む3班体制

9月20日(金)	11名2班 (中丹西保健所 4名1班、他保健所7名1班)
9月21日(土)	19名2班 (中丹西保健所 4名1班、他保健所15名1班)
9月22日(日)	18名2班 (中丹西保健所 4名1班、他保健所・保環研14名1班)
9月23日(祝)	17名2班 (中丹西保健所 4名1班、他保健所・保環研13名1班)
9月24日(火)	8名2班 (中丹西保健所 4名1班、他保健所・保環研4名1班)
9月25日(水)	6名2班 (中丹西保健所 4名1班、他保健所2名1班)
9月26日(木)	3名1班 (中丹西保健所 3名1班)
合計	82名 (中丹西保健所27名、他保健所・保環研55名)

- ・対象地域 大江、戸田、下天津地区の約1,000戸(床上・床下浸水)

9月20日(金)	府担当 89戸 (全体138戸)
9月21日(土)	府担当 72戸 (全体121戸)
9月22日(日)	府担当100戸 (全体149戸)
9月23日(祝)	府担当100戸 (全体163戸)
9月24日(火)	府担当100戸 (全体127戸)
9月25日(水)	府担当 50戸 (全体 94戸)
9月26日(木)	府担当 20戸 (全体 78戸)
合計	府担当531戸 (全体870戸)

- ・その他 9月26日で保健所の支援は終了。以降、市及び委託業者が作業継続

家屋周辺の消毒



床下消毒



消毒用具一覧

* 1 - 消毒機器類

- 噴霧器（当所保管分は次のとおり。応援保健所持分と併せて、1人1台使用）
 - ・ 5ℓ容量の単一電池6本電動式（4台有り）予備電池が必要
 - ・ 7ℓ容量の手動式（2台有り）ノズルが長く、床下に便利
 - ・ 8ℓ容量の手動式（1台有り）

- 消毒液（オスパンを100倍希釈して噴霧）
 - ・ 100倍に希釈した消毒液入り20ℓポリタンク（車に1本）
 - ・ 希釈水道水入り20ℓポリタンク（車に3本）
 - ・ 600mlオスパン液（車に2本）：保健所作業で50本使用

- 消毒液添加用漏斗（車に1個）

* 2 - 作業員装備品

- 手袋（軍手、ナイロン手袋、1人複数組以上）
- マスク、長靴、作業服、靴下

* 3 - その他

- 飲料水、保冷剤
- 食事弁当等（浸水地区では店舗閉店で調達不可）



消毒用具の車載状況



第4章 復旧対策

第1 機能回復

福知山市北部保健福祉センター（大江支所）の浸水被害は、1階床上約1.5mであった。京都府は9月18日の現地視察後、福知山市から要請を受け9月19日から支所機能回復を目的に水害物品の搬出や床洗浄等の支援を行った。

<概要>

- ・実施期間 9月19日（木）～9月21日（土）
- ・内 容 水害物品（机、ロッカー等）の搬出、ロビー・事務室の床洗浄等
- ・対象施設 福知山市北部保健福祉センター（大江支所）
- ・体 制

9月19日（木）	12名（中丹西保健所 7名、府健康福祉部 5名）
9月20日（金）	10名（中丹西保健所 5名、府健康福祉部 5名）
9月21日（土）	7名（中丹西保健所 6名、府健康福祉部 1名）
合 計	29名（中丹西保健所 18名、府健康福祉部 11名）

- ・その他 9月21日からボランティア支援

<作業前>

平成25年9月18日（水）

<作業後>

平成25年9月20日（金）

入
口



入
口
ホ
ール



1階事務室



<ボランティアとの共同作業の様子>

平成25年9月21日(土)



床下に溜まった水の排出



室内の清掃



床材の撤出



床材の撤出

清掃用具等一覧

- 雑巾、バケツ、新聞紙、タオル
- 手袋(軍手、ナイロン手袋)
- マスク、長靴、作業服
- 台車
- 高圧洗浄機、水中ポンプ、吸水掃除機
- 飲料水、食事弁当等

第2 ボランティアによる支援

管内では、9月17日(火)に福知山市災害ボランティアネットワーク連絡会(事務局:福知山市社会福祉協議会)が災害ボランティアセンターを立ち上げ、災害ボランティアを募ったところ、福知山市内だけでなく京阪神地域をはじめ、全国各地からボランティアによる支援や協力を得た。また、市外の各社会福祉協議会からの自主的なボランティアも受け入れた。

<概要>

- ・実施期間 9月17日(火)～9月27日(金)
- ・募集開始 9月19日(木)
- ・受付場所 三段池公園 市武道館
- ・現地センター 戸田、大江
- ・活動内容 家具搬出、泥だしなど
- ・活動場所 戸田、大江、土、興、川北など(要請に応じて派遣)
- ・参加実績 延約5,600名(9月27日正午閉鎖)
- ・その他 府災害ボランティアセンターが「災害ボランティアバス」を運行(9月21日～23日)
募集定員:350名(各日)
行き先:福知山市、舞鶴市、南丹市
参加者:1,001名
バス:28台

家具の搬出



泥だし



第3 各種支援

1 災害廃棄物

(1)災害廃棄物の発生状況

- ・台風18号による被災により、災害廃棄物として約3,953t発生した。
(内訳：旧市内約2,682t、旧大江町内：1,271t)
- ・災害廃棄物として、家具類、木くず、わらなどの可燃ごみや家電製品、自転車、金属類、タイヤ、ふとんなどの不燃ごみ、畳、がれき類などが発生した。

(2)福知山市の対応

- ・9月17日付で自治会に、ごみステーションとは別の集積場に災害廃棄物を搬出するよう通知した。
- ・集積場では、燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、家電リサイクル指定品(テレビ、洗濯機、エアコン、冷蔵庫等)を分別して回収した。

○福知山市興・石原・土ほか地域で発生した災害廃棄物

- ・市、近隣の災害協定自治体及び市委託業者が集積場から福知山市環境パークに搬入し、可燃ごみは焼却炉に、不燃ごみ、畳及びがれき類は埋立処分とした。

○福知山市大江町地域で発生した災害廃棄物

- ・「災害時における災害廃棄物処理等の協力に関する協定書」に基づき、公益社団法人京都府産業廃棄物協会に協力を要請した。
- ・京都府産業廃棄物協会に集積所から広域集積場(3箇所：河東グラウンド・大江支所裏駐車場・有路下体育館駐車場)への運搬、広域集積場での分別、広域集積場から環境パークへの運搬を委託した。
- ・災害廃棄物のうち不燃ごみについては、処分も京都府産業廃棄物協会に委託した。

2 自治体の支援

9月16日(月)	災害救助法適用(福知山市、舞鶴市)
9月17日(火)	知事現地視察(大江、由良川被災地周辺)
9月19日(木)	厚生労働省による市町村向け災害救助法説明会(福知山庁舎会議室)
	被災者生活再建支援法適用(京都市、福知山市)
	被災者に対する府営住宅の提供(福知山市、舞鶴市)
9月20日(金)	被災家屋調査方法等に係る説明会(福知山市)
9月23日(月)	被災者生活再建支援法適用(舞鶴市)
9月24日(火)	被災地域住民への健康調査等の支援
9月28日(土)	「台風18号被害による住宅相談会」の実施
9月29日(日)	

3 関係法令の適用

- ・災害救助法(9月16日)
- ・被災者生活再建支援法(9月19日)
- ・激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律(10月9日)

○社会福祉施設等災害復旧費国庫補助金

- ・認知症高齢者グループホームとだ(12,592千円)
- ・わかば保育園(20,659千円)

第5章 課題・対策

課題

- 災害対応における安全確保・健康・衛生・環境問題など、住民に直結する対応のほとんどが市町村の役割となっており、大規模災害発生時には、市の担当者は本務の対応のみならず市内部の役割分担の両方に忙殺され、目の前の課題対応で手一杯の状況となる。
保健所は、応急対策を進める中で次に必要となる対応は何か、市が直面している課題は何か、などに目配りし、適期に対応ができるよう市を支援していく必要がある。
今回、保健所から対応策を発信した場面がいくつもあったが、あらかじめ準備できていたマニュアルがなかったため、その都度考えながらの対応となり臨機応変ではあったがスピードでは劣った部分があった。
- 忘れた頃に被災するため、消毒機器の整備点検ができていなかった。発電機も燃料を入れたら点検後必ず空にしておくなど、動作確認だけでなく常の保管状態に関するノウハウを共有する必要がある。
また、今回福知山市北部保健センターの機能回復にあたり、亀岡市食肉センター管理組合から水中ポンプや清掃用具を借り受けて作業にあたった。あらかじめ準備をしておけない資機材であったが、たまたま他施設が持っている機器を承知していたことから、回復手法のアイデアにつながり効率的な作業を行うことができた。日頃のネットワークとひらめきが活かした好事例となった。
- マニュアルとして準備していく大切さがある一方で、ひらめきで乗り切る臨機応変な対応も大変重要である。現場に合わせた作業手順や必要とする資機材はその都度変わる。
訓練で体験することは難しいが、あえて意識したり、通常業務の中でも感性を磨いておく必要がある。
- 避難所の設置は市町村業務であるが、要配慮者対策の課題が明らかになってきた。市と連携しユニバーサルデザイン避難所設置について検討・検証していく必要がある。
- 消毒作業については、福知山市主導で保健所が支援に入ったが、標準作業書が定まっていなかったことや自治会対応で差異が生じるなど現場において反省すべき点がみられた。
また、消毒作業については、ボランティアによる泥出し作業との連携が大切であることがわかった。

対策

- (公衆衛生マニュアルの作成と訓練)
公衆衛生マニュアルを作成するとともに、府・市の職員の対応力を高めるための研修会と対応訓練を定期的に行い、PDCAにより改善を行っていく。
- (ユニバーサルデザイン避難所の検証)
障害者だけでなく超高齢化社会を見据えた対応策の検討・検証を行い、効果が確認できたものから順次導入に努める。
- 公衆衛生マニュアルにより、保健所全体の動きを整備し、個別の業務については手順書を整備する。
- 災害だけに限らず緊急時に必要な資機材を一元管理するとともに、他機関から借りることができる資機材のリストを整備していく。
- 災害ボランティアセンターとの連携方策について検討する。

資料編

1 様式、リーフレット

様式 1-1	水害による健康被害調査票	20
様式 1-2	健康調査連名簿（全員の健康状態の把握）	21
様式 2	保健活動日報	22
様式 3	保健活動計画	23
リーフレット 1	手洗いをしましょう	24
リーフレット 2	歯みがきをしましょう	25
リーフレット 3	水害等の災害における感染症や食中毒の予防について	26
リーフレット 4	～あなたの「こころ」と「からだ」のケアのために～	27
リーフレット 5-1	被災されたお子さんをお持ちの家族の方へ	28
リーフレット 5-2	《日常生活では、次のことを心がけましょう》	29
リーフレット 6	被災されたご家庭のみなさまへ	30
リーフレット 7-1	災害発生時の消毒	31
リーフレット 7-2	殺菌消毒剤の使用法	32
リーフレット 8	動力噴霧器の使用法	33

水害による健康被害調査票

様式1-1

		地区名	舞鶴市	福知山市 大江地区	福知山市 戸田地区	南丹市	世帯番号	
調査月日	平成 年 月 日 (被災 日)					調査者所属		
調査方法	1面接 2訪問 3電話 4その他 ()					調査者氏名		
氏名	(世帯主)					被調査者		
住所	市					電話		
被害状況	0被害はなし 1床下浸水 2床上浸水 (cm) 3その他 ()							
清潔	飲料水	1 上水道のみ		2 上水道、井戸水		3 井戸水のみ		特記事項
		0問題なし		1問題あり		2早急に改善の必要あり		
	手洗い	0問題なし		1問題あり		2早急に改善の必要あり		
	消毒	0問題なし		1問題あり		2早急に改善の必要あり		
食生活	0問題なし		1問題あり		2早急に改善の必要あり			
介護	0問題なし		1問題あり		2早急に改善の必要あり			
精神面	0問題なし		1問題あり		2早急に改善の必要あり			
環境	トイレ	1 浄化槽		2 くみ取り式		3 その他 ()		
		0問題なし		1問題あり		2早急に改善の必要あり		
	ゴミ	0問題なし		1問題あり		2早急に改善の必要あり		
	下水	0問題なし		1問題あり		2早急に改善の必要あり		
	泥	0問題なし		1問題あり		2早急に改善の必要あり		
受診状況	0問題なし		1問題あり		2早急に改善の必要あり			
家族の状況	種別※	氏名	年齢	現病歴			治療の有無	医療機関
				1 高血圧 2 糖尿病 3 心疾患 4 その他 ()			有・無	
				1 高血圧 2 糖尿病 3 心疾患 4 その他 ()			有・無	
				1 高血圧 2 糖尿病 3 心疾患 4 その他 ()			有・無	
				1 高血圧 2 糖尿病 3 心疾患 4 その他 ()			有・無	
集計用	世帯人数		人					
	消化器症状のある人数		人					
	その他の症状のある人数		人					
	要フォローの者の人数		人 (氏名)					
自由記載								

※ 種別欄 1乳幼児 2妊産婦 3高齢者 4難病 5寝たきり 6その他 ()
 ※ 備考欄 既往歴 療養中の疾患、その他気になること

様式 1-2

※継続支援が必要な場合は健康調査票を作成する

健康調査連名簿 (全員の健康状態の把握)

世帯番号	氏名	年齢	性別	要継続者は○	対象 (状態・疾患など)	主訴及び現象	現在治療中の疾患名	治療状況	問題点及び支援内容	所在	健康相談票ありに○
			男女		1 乳幼児 2 妊産婦 3 高齢者 4 難病 5 寝たきり 6 その他	1 便秘 2 食欲不振 3 嘔吐 4 発熱 5 不眠 6 倦怠感 7 頭痛 8 動悸息切れ 9 関節痛 10 憂う 11 その他 ()		1 継続 2 中断		1 自宅 2 選難所 3 軍中 4 テント 5 その他 ()	
			男女		1 乳幼児 2 妊産婦 3 高齢者 4 難病 5 寝たきり 6 その他	1 便秘 2 食欲不振 3 嘔吐 4 発熱 5 不眠 6 倦怠感 7 頭痛 8 動悸息切れ 9 関節痛 10 憂う 11 その他 ()		1 継続 2 中断		1 自宅 2 選難所 3 軍中 4 テント 5 その他 ()	
			男女		1 乳幼児 2 妊産婦 3 高齢者 4 難病 5 寝たきり 6 その他	1 便秘 2 食欲不振 3 嘔吐 4 発熱 5 不眠 6 倦怠感 7 頭痛 8 動悸息切れ 9 関節痛 10 憂う 11 その他 ()		1 継続 2 中断		1 自宅 2 選難所 3 軍中 4 テント 5 その他 ()	
			男女		1 乳幼児 2 妊産婦 3 高齢者 4 難病 5 寝たきり 6 その他	1 便秘 2 食欲不振 3 嘔吐 4 発熱 5 不眠 6 倦怠感 7 頭痛 8 動悸息切れ 9 関節痛 10 憂う 11 その他 ()		1 継続 2 中断		1 自宅 2 選難所 3 軍中 4 テント 5 その他 ()	
			男女		1 乳幼児 2 妊産婦 3 高齢者 4 難病 5 寝たきり 6 その他	1 便秘 2 食欲不振 3 嘔吐 4 発熱 5 不眠 6 倦怠感 7 頭痛 8 動悸息切れ 9 関節痛 10 憂う 11 その他 ()		1 継続 2 中断		1 自宅 2 選難所 3 軍中 4 テント 5 その他 ()	
			男女		1 乳幼児 2 妊産婦 3 高齢者 4 難病 5 寝たきり 6 その他	1 便秘 2 食欲不振 3 嘔吐 4 発熱 5 不眠 6 倦怠感 7 頭痛 8 動悸息切れ 9 関節痛 10 憂う 11 その他 ()		1 継続 2 中断		1 自宅 2 選難所 3 軍中 4 テント 5 その他 ()	
			男女		1 乳幼児 2 妊産婦 3 高齢者 4 難病 5 寝たきり 6 その他	1 便秘 2 食欲不振 3 嘔吐 4 発熱 5 不眠 6 倦怠感 7 頭痛 8 動悸息切れ 9 関節痛 10 憂う 11 その他 ()		1 継続 2 中断		1 自宅 2 選難所 3 軍中 4 テント 5 その他 ()	
			男女		1 乳幼児 2 妊産婦 3 高齢者 4 難病 5 寝たきり 6 その他	1 便秘 2 食欲不振 3 嘔吐 4 発熱 5 不眠 6 倦怠感 7 頭痛 8 動悸息切れ 9 関節痛 10 憂う 11 その他 ()		1 継続 2 中断		1 自宅 2 選難所 3 軍中 4 テント 5 その他 ()	

保健活動日報

様式2

記録日時	平成 年 月 日 ()	記録者氏名
------	--------------	-------

地区名	舞鶴市	福知山市 大江地区	福知山市 還喬地区	合計
市保健師数	人	人	人	人
派遣保健師数	人	人	人	人
当該保健所 保健師数	人	人	人	人

1 地域活動

対象区分 (実人員)

区分	乳幼児	妊産婦	高齢者	難病	寝たきり	その他	計
面接							
訪問							
電話							
その他							
計							

2 被害状況

	被害なし	床下浸水	床上浸水	その他
件数	件	件	件	件

3 健康問題

症状	15歳以下	16～64歳	65歳以上	対応・特記事項
便秘				
食欲不振				
嘔吐				
発熱				
不眠				
倦怠感				
頭痛				
動機息切れ				
関節痛・腰痛				
憂うつ				
その他				
計				

4 主な内容 (延件数)

No	内容	地域	避難所	件数
1	被災による外傷など(復旧作業も含む)			
2	現症・既往に関する事			
3	医療・服薬に関する事			
4	感染症予防に関する事			
5	エコノミー症候群に関する事			
6	こころのケアに関する事			
7	介護に関する事			
8	その他()			
合計				

5 直接的ケア

内容	地域	避難所	件数
傷の処置			
内服介助			
食事介助			
排泄介助			
清潔介助			
その他()			
合計			

6 申し送り事項

--

保健活動計画

様式3

記録日時	平成 年 月 日 ()	記録者氏名
------	--------------	-------

地区名	舞鶴市	福知山市 大江地区	福知山市 還喬地区	合計
市保健師数	人	人	人	人
派遣保健師数	人	人	人	人
当該保健所 保健師数	人	人	人	人

1 地域活動計画

対象区分(実人員)

区分	乳幼児	妊産婦	高齢者	難病	寝たきり	その他	計
訪問							

朝のミーティング内容(特記事項)

--

手洗いをしましょう



避難所生活や災害後の自宅生活は、普段と違う衛生環境にありますので、いつも以上に食中毒や感染症に気をつける必要があります。

そのため食事の準備時やトイレの後など、しっかりと手洗いをしましょう。

☆☆☆ 効果的な手洗い方法 ☆☆☆

 <p>流水で軽く洗います (時計や指輪ははずしておきます)</p>	 <p>せっけん液を手に取り ます(固形せっけん でないほうがよい)</p>	 <p>手のひらを合わせ、指 の間までよく洗います</p>	 <p>手の甲を伸ばすように 指の間までよく洗いま す(左・右)小指の外 側も忘れずに!</p>	 <p>指先で手のひらをこす るように指先・爪の間 をよく洗います(左・右)</p>
 <p>親指を握りねじり洗い します(左・右)</p>	 <p>手首を握りねじり洗い します(左・右)</p>	 <p>流水でせっけんをよく すすぎ落とします。</p>	 <p>ペーパータオル等で水 分をしっかり拭き取り ます。</p>	 <p>水道栓を閉めるときや 消毒液のポンプを押す ときはペーパータオル 等を使用します。</p>

☆アルコール消毒薬(速乾性手指消毒剤)

- ・手洗い後の乾いた手に使用すると効果的です。
- ・適量を手にとり、手指全体にすり込み乾燥させましょう。
- ・水がないときも、アルコール消毒薬があれば使用しましょう。



健康に関する相談窓口

京都府中丹西保健所	電話 0773-22-6381
福知山市健康推進室	電話 0773-23-2788

歯みがきをしましょう

水を自由に使えないために、歯みがきなどのお口のお手入れを忘れていませんか？

口の中が清潔でないと、口の中で雑菌が繁殖し、むし歯や歯周病などの口の中の病気だけでなく、肺炎になる危険性も高くなります。

特に、お年寄りや寝たきりの人は、口の中を清潔にすることは大切です。

《お口を清潔に！》

- 1 歯みがき剤がなくても、歯ブラシだけで「素みがき」をしましょう。
- 2 入れ歯は口からはずして歯ブラシでみがきましょう。
- 3 洗口液（デンタルリンスやマウスウォッシュなど）でブクブクうがいをする 것도効果的です。



健康に関する相談窓口

京都府中丹西保健所
福知山市健康推進室

電話 0773-22-6381
電話 0773-23-2788

水害等の災害における感染症や食中毒の予防について

河川の増水などにより浸水した地域においては、衛生環境が不良な状態となりやすく細菌性の下痢症などの感染症や食中毒が発生するおそれがあります。

慢性的な疾患にかかっている人、高齢者、乳幼児は特に注意してください。

また、水害後の後片付け等で疲労が蓄積してくると身体の抵抗力も低下することもありますのでご注意ください。

これらを予防するため次のことに注意していただくようお願いします。

1. こまめに手洗い、うがいをしましょう。

特に用便の後や調理、食事をする場合には十分手指等の汚れを落とすようにしてください。

2. 汚水のかかった食器類等は消毒をしましょう。

汚水のかかった食器や調理器具等を使う場合は、水洗いして汚れをきれいに洗い流してください。そして、熱湯などの消毒をしてから使用してください。

汚水のかかった食器棚や冷蔵庫なども汚れをきれいに拭き取りましょう。

3. 井戸は安全確認してから飲用水として使用しましょう。

浸水した井戸は安全を確認するまで飲用水としての使用を控えてください。

やむを得ず飲用する場合は必ず煮沸してください。

4. 食品の安全に注意しましょう。

汚水のかかった食べ物や停電により保存温度が保てなかった食品は廃棄してください。

暑い日が続きますので、食品はできるだけ早く食べるようにし、残った場合は廃棄するようにしてください。加熱して調理する食品は、中心部まで十分火を通しましょう。

5. 症状がある場合は早めの受診を！

吐き気やおう吐、下痢、腹痛、発熱などの症状があった場合は、早めに医師の診察を受けてください。水害後の湿った土にはレプトスピラ菌や破傷風菌など病原菌が多く存在する可能性があります。傷がある場合の作業では手袋をはめるなど防御が必要です。また、創部は化膿しやすいため早めに受診しましょう。水害後の乾燥した土壌の土埃による目や呼吸器の感染症に注意しましょう。

～あなたの「こころ」と「からだ」のケアのために～

今回の災害は、あなたの「こころ」と「からだ」に様々な影響を与えることがあります。あなた自身の「こころ」と「からだ」の健康を取りもどすためには、まず、あなた自身を大切にすることがとても大切なことです。

誰でも大きな精神的なショックがあれば、「こころ」も「からだ」もバランスを崩してしまいます。「こころ」と「からだ」の変化、症状としては、以下のことがあげられます。

<こころの面には>

- ① 怒りっぽくなったり、イライラする
- ② 物事に集中できない
- ③ そのことは考えたくない 話したくない
- ④ 周囲の人との間に壁ができ、疎遠になったような気がする
- ⑤ 自分を責める気持ちや無力感が強くなる
- ⑥ 気分が落ち込み、悲しい気分が続く
- ⑦ 不安や緊張がなかなかとれない

<からだの面には>

- ① 寝付きが悪くなったり、何度も目が覚めたり、悪夢を見たりする
- ② 疲れがとれず、だるさを感じる
- ③ 食欲がなくなったり、逆に食べ過ぎる傾向になる



これらの症状は「異常な事態に対すると誰でも経験する正常な反応」です。

このような症状は一時的な反応である場合もありますが、長続きすることもあります。

こころとからだの健康を取りもどすために、次のことに気をつけてみましょう。

その1 睡眠を確保する



まずは睡眠時間を確保してください。
ずっと緊張しているので、自分が疲れているかわからなくなっています。
疲れていないと思っても、心がけて休みましょう。

その2 気持ちを言葉にしてみましょう



感情を抑え込んでいると、こころやからだに悪い影響を与えます。
家族や友達との関係を大切にし、許せる範囲で、話すようにしましょう。

その3 自分を大切に



あなたが、心地よいと思う時間を大切にしていきましょう。
栄養をとり、リラックスできることを探し、気分転換をこころがけましょう。

その4 困ったときは一人で悩まない



心身の不調が続くときは、一人で我慢しないで、市保健福祉センターや、保健所に相談をして下さい。

京都府中丹西保健所 福祉室
0773-22-3903 (直通)

被災されたお子さんをお持ちの家族の方へ

大人でも心理的なストレスや環境の変化から、こころやからだの不調が現れることがあります。特にこどもの場合は、身体の症状や日ごろはみられない行動の形で現れることが多くなります。

《子どもに現れやすいストレス反応》

行動の反応

- 赤ちゃんがえり（お漏らし、指しゃぶり、これまで話せたことばが話せないなど）
- 甘えが強くなる
- わがままを言う ぐずぐず言う
- 今までできていたことも出来なくなる（食べさせてほしがる トイレへ一人で行けない）
- 親が見えないと泣きわめく
- そわそわして落ち着きがなくなる
- 反抗的だったり、乱暴になる
- 話をしなくなる 話しかけられることを嫌がる
- 遊びや勉強に集中できなくなる
- 集団活動に適応できなくなる

こころの反応

- イライラする 機嫌が悪い
- 急に素直になる
- 一人になること、見知らぬ場所、暗い所や狭い所をこわがる
- 少しの刺激（小さい物音、呼びかけなど）にもびっくりする
- 突然興奮したり、パニック状態になる
- 現実でないことを言い出す
- 落ち込む 表情が乏しくなる
- ぼーっとしている

からだの反応

- 食欲がなくなる あるいは食べ過ぎる
- 寝つきが悪くなる 何度も目を覚ます
- いやな夢を見る 夜泣きをする
- 暗くして寝ることを嫌がる
- 何度もトイレに行く おねしょをする
- 吐き気や腹痛、下痢、めまい、頭痛、苦しさなどの症状を訴える
- 喘息やアトピーなどのアレルギー症が強まる
- 風邪を引きやすくなる

このような身体やこころの変化は、決して驚くような反応ではありません。正常な反応であり、ほとんどの変化は時間とともに回復していきます。

《日常生活では、次のことを心がけましょう》

- できるだけお子さんを一人にせず、家族と一緒にいる時間を増やしましょう。
- できるだけ食事や睡眠などの生活リズムを崩さないようにしましょう。
- 子どもが話すことは、ばかばかしいと思っても否定せずに聞いてあげましょう。
ただし、話したくない時には無理に聞きださないようにしましょう。
- 行動に変化があっても、むやみに叱ったり、突き放したりせず、受けとめてあげましょう。
- 気をつかうがんばり屋のお子さんは、負担が大きくなりすぎないように気をつけてあげてください。
- 抱っこをしてあげたり、痛いところがあったらさするなどスキンシップを増やしましょう。
- 恐かったことや、悲しかったことをゆっくり聞いてあげて、次のような言葉がけをしてください。これらの言葉は、何度繰り返してもかまいません。

〈声かけ具体例〉

【その1】「○○ができなくても恥ずかしくないんだよ。」

【その2】「心配なことがあったら何でも言ってね。」

【その3】「あなたはちっとも悪くないよ。」

【その4】「お父さんやお母さんが守ってあげるからね。」

こういった対応は、少なくとも2、3カ月間から半年間、また必要に応じて、それ以降も繰り返し続けて下さい。なお、ふつうの時でもこのような態度は子育てに必要な望ましい態度です。

症状が長引いたり、気になる症状があるようでしたら、まず、ご家族が相談窓口の声かけましょう。医療機関、保健所、保健センターなどに相談しましょう。

相談をお受けします

京都府中丹西保健所 福祉室 TEL 0773-22-3903

被災されたご家庭のみなさまへ

京都府中丹西保健所
福知山市健康推進室
(北部保健福祉センター)

保健師が訪問させていただきましたが、お留守でしたのでお手紙で失礼します。

この度は、ご自宅が被災されお見舞い申しあげます。

おからだの調子はいかがでしょう。

ご自宅のおかたづけや消毒などでお疲れがたまっておられることと存じます。ストレスがたまると腰痛や胃腸、歯の健康などからだにも負担がかかります。ご心配なことがありましたら、下記までご連絡ください。

記

京都府中丹西保健所保健室 0773-22-6381

福知山市中央保健福祉センター 0773-23-2788

福知山市北部保健福祉センター 0773-56-2620



災害発生時の消毒



- 消毒薬は、お近くの薬局で購入してください。
- 消毒薬は、過剰に使用すると人の健康や環境へ影響を与えることがあるので、使用は必要最小限にしましょう。
- 消毒薬の使用の際は、取り扱い説明書に従い、事故が起こらないよう注意してください。
- 消毒前には、洗浄により十分に汚れを除去してください。(洗浄後でない、消毒効果を発揮することができません。)

《消毒方法》

消毒場所	使用する薬剤	消毒方法
床下、床、畳、柱、家具、台所、調理施設等	①塩化ベンザルコニウム ②塩化ベンゼトニウム	床下は希釈液を散布する。 その他は希釈液で拭く。
調理器具、食器等	①塩化ベンザルコニウム ②塩化ベンゼトニウム ③次亜塩素酸ナトリウム	器具等を洗浄後、希釈液に浸す。 ※③は金属製品に使用不可。酸性洗浄剤との併用は危険。換気必要。
便所、便器	①塩化ベンザルコニウム ②塩化ベンゼトニウム ③次亜塩素酸ナトリウム ④消毒用エタノール	希釈液で拭く。 ※③は金属製品に使用不可。酸性洗浄剤との併用は危険。換気必要。 ※④は引火性が強いので注意すること。
浴槽、浴室等	①塩化ベンザルコニウム ②塩化ベンゼトニウム ③次亜塩素酸ナトリウム	希釈液で拭く。 ※③は金属製品に使用不可。酸性洗浄剤との併用は危険。換気必要。
衣類等	①塩化ベンザルコニウム ②塩化ベンゼトニウム ③次亜塩素酸ナトリウム	よく洗った後、希釈液に浸す。 ※③は金属製品に使用不可。酸性洗浄剤との併用は危険。換気必要。色物は漂白に注意。
手指等	①塩化ベンザルコニウム ②塩化ベンゼトニウム ③アルコール類	①、②は希釈して、③は原液でもみ洗いする。
井戸	①次亜塩素酸ナトリウム	投入する。→消毒後、水質検査をする。 ※金属製品に使用不可。酸性洗浄剤との併用は危険。

☆薬剤の商品名

- ① 塩化ベンザルコニウム (オスバン、チアミトール、逆性石鹼等)
- ② 塩化ベンゼトニウム (ハイアミン、ベゼトン、エンゼトニン等)
- ③ 次亜塩素酸ナトリウム (ピューラックス、ミルトン等)
- ④ アルコール類 (消毒用エタノール、ウエルパス、ヒビソフト等)

☆床上、床下浸水時は、水が引いた後に消毒してください。

☆消毒薬の希釈は、商品ラベルを確認して適正濃度に希釈してください。

健康に関する相談窓口

京都府中丹西保健所
福知山市健康推進室

電話 0773-22-6381
電話 0773-23-2788

殺菌消毒剤
(逆性石けん液)

オスバン S の使用方法

【成分】

ベンザルコニウム塩化物 (塩化ベンザルコニウム) 10%水溶液

【消毒場所】

床下、床、畳、柱、家具、台所、調理施設等

【消毒方法】

本剤の100倍液 (※) を散布するか、または拭く。

【希釈方法】

本剤のキャップ1杯は約5mLである。

<キャップを用いたうすめ方>

- ・100倍液…本剤2杯を水1Lにうすめる。

(使用上の注意)

- ・ゴム製品、皮革製品への使用はさけてください。
- ・浄化槽には散布しないでください。



(注意) 本剤を最初に入れると、泡だらけになります。

健康に関する相談窓口

京都府中丹西保健所

電話 0773-22-6381

福知山市健康推進室

電話 0773-23-2788

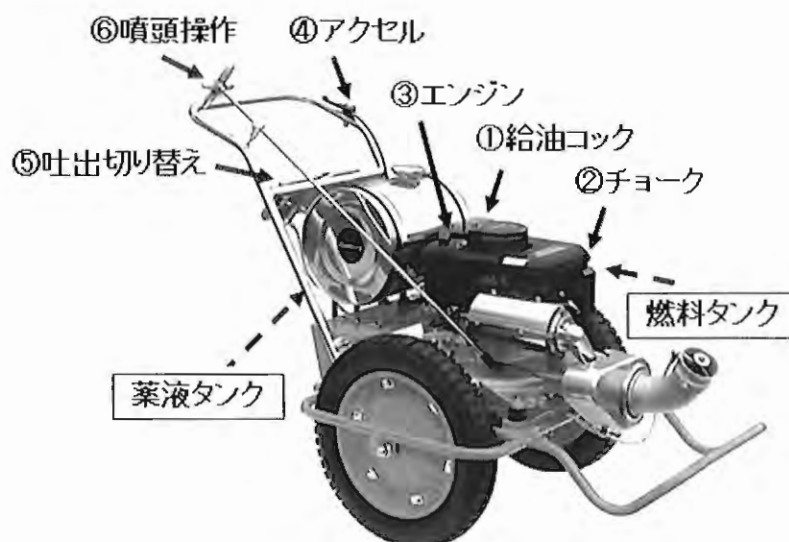
(※) 用途に応じた濃度については、本体の説明書きも参考にしてください

動力噴霧器の使用方法

共立 (K I O R I T Z) FM-4A

中丹西保健所 保健室

- ①給油コックを開く
- ②チョークを引く
- ③エンジンをかける (かかればチョークを戻す)
- ④アクセルで出力調整
- ⑤吐出切り替え
ケムリ…屋内で使用
キリ …屋外で使用
- ⑥噴頭操作



【燃料】

混合油 50 (ガソリン) : 1 (2サイクルオイル)

燃料タンク容量 (L) 4

- 煙霧はエンジンの排気熱を利用。ハエ・蚊・ゴキブリの駆除に適しています。
- 送風機の高速風により、薬液が霧化され目的物に付着します。
- 噴頭は360度自由に回転しますから、目的物に向かって薬液散布ができます。

寸法 (長さ×幅×高さ) (mm) 1,300×690×870

本体乾燥質量(kg)48

気量(mL)99

薬液タンク容量(L)12

吐出量煙霧(mL/min) 100~250

吐出量ミスト(mL/min)500~1,400

希望小売価格 (税込) ¥527,100

(出典) K I O R I T Z ホームページ

2 災害記録写真

平成25年9月16日
大川橋（舞鶴市）付近



平成25年9月16日
大川橋（舞鶴市）付近



福知山市大江町地域振興センター（提供：福知山市）





福知山市役所大江支所
(提供：福知山市)

福知山市役所大江支所内部
(提供：福知山市)



平成25年9月20日
災害ごみ集積場復旧工事
(提供：福知山市)

平成25年9月24日
災害ごみ広域集積場<KTR大江駅駐車場>
(提供：福知山市)



3 新聞記事

平成25年9月17日 両丹日々新聞

号 両丹日日新聞

2013年(平成25年)9月17日 火曜日

多くの家屋浸水、道路も水没

台風18号 遷喬、大江など大水害

初の大雨特別警報

福知山全域に避難指示

音無瀬橋
下流 過去最高水位 8メートル30

大型の台風18号の接近に伴い15日から16日にかけて降り続いた大雨で、由良川と各地の支流が氾濫し、福知山市の戸田、石原両地域や大江町を中心に多くの家が水につかるなど、甚大な被害が出た。道路の通行止めや列車の運転見合わせも相次ぎ、17日朝も孤立している集落がある。浸水した地域では、水が引くのを待ち、片付け作業に追われている。



自宅が浸水し、屋根から救出される住民(大江町河守中央)

16日午前5時5分、京都府と滋賀県、福井県に8月30日の運用開始後、全国で初めてとなる「大雨特別警報」が発表された。山災害対策本部は、全市に避難指示を出し、厳重な警戒を呼びかけた。この間も由良川の水位は

どんどん上昇し、午前8時10分には、音無瀬橋下流で8日30の過去最高水位となった。

遷喬地区や大江町河守地域などは、たちまち水かさが増し、家屋に水が流れ込む。床上・床下浸水は数多く、生活道路や大江地内の国道175号などは完全に水をかぶって通れない。

身動きがとれない住民らは、消防などが舟で救助に向かった。住宅の2階から助け出される人たちがいた。抱きかかえられて避難するお年寄りの姿も。被災者らは住宅の2階や各地に設けられた避難所で、一夜を過ごし、17日朝からは、つらい片付け作業に追われている。

平成25年9月17日 両丹日々新聞

04年の台風23号 超えた山良川

台風18号は16日未明に近畿地方に最接近し、同日午前8時前、愛知県豊橋市付近に上陸、本州を縦断し、夕方には東北から太平洋に抜けた。

市は大雨警報が発表された15日午後7時15分、市災害警戒本部(本



激流で音無瀬橋まで水が迫る(16日午前7時10分ごろ、猪崎)

部長・松山正治市長)を設置し、総力を挙げて情報収集と警戒にあたった。その後、災害対策本部に切り替えた。

16日午前5時40分には、「重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況として、市内全327自治会、3万5474世帯(8万1246人)に避難指示を出し、「浸水や土砂災害の危険がある区域に住む人は、一刻も早く避難を」と呼びかけた。

大谷川で流出者の 目撃情報を認知

福知山署

福知山署は16日、石原の大谷川での流出者の目撃情報を認知したと発表した。

同署によると、石原の小学生在、自宅2階の窓から約20分離れた川を眺めていたとこ

は大江町と遷番地区を除き、避難指示が解除された。

「16日の明け方くらいから、一気に水位が上がってきた。こんな経験は、04年の台風23号のとき以来。隣の畑も水につかってしまい、もう野菜はためてしまうね」と嘆いていた。

1578人が避難

市は16日午前0時までに、市内全域の57カ所に避難所を開設した。同日午前8時30分時点で、32避難所に736世帯1578人が避難。不安な表情で、激しい雨や川の氾濫が収まるのを待った。

このうち市厚生会館には、約130人が避難。なかには、16日に市内で開催予定だった大会に参加するため、下柳町の旅館に宿泊していた桃山高校卓球部の姿もあった。

部員の布施絵梨さん(2年)は「朝起きて旅館から外を眺めたら、由良川がありえないくらい増水している、とても怖かった。試合も中止になり、コ

ンディションを整えてきただけに残念」と話していた。

17日午前9時現在も美河小学校に3世帯7人が避難している。

敬老会は中止に

16日は敬老の日ということもあり、多くの場所敬老会が予定されていたが、大雨の影響により中止を余儀なくされた。

情報などは得られなかった。17日も同署などが調べている。

小、中学校 7校が休校

中丹支援学校も

台風の影響で17日に休校となった学校は、庵我、遷番、美河、有仁の4小学校、桃映、日

新、大江の3中学校と府立中丹支援学校。床上浸水した大江町のけん鬼保育園、戸田のわか保保育園は休園、猪崎のみまわり保育園は午前中を休園にした。

高校の休校はないが、福知山、府立工業が授業開始時間を遅らせられた。ただし、鉄道の不通や道路状況の関係で登校できない生徒がいる。私市の中丹支援学校はクラウンドが浸水し、17日は職員総出でごみや泥の除去作業に励んでいる。

平成25年9月17日 両丹日々新聞

大江町 04年同様の被害

命が助かってよかった

何回経験しても怖い

04年10月の台風23号による大水害で被災した大江町は、今回の水害でまた大きな被害を受けた。16日早朝に水が押し寄せ、国道175号や府道などが寸断され、または一時孤立した。蓼原や河守など町内の低い地域では2階に達するほど浸水した家屋があった。

17日早朝には、水が引いたことで、住民たちは避難所から戻り、家屋からの泥出しや故らあった家財道具などは「」と話していた。

04年の大水害で死者2人が出た河守新町でも多くの家屋が浸水した。17日に避難所から自宅に戻った中島均さん(72)は「2001年にここに住み始めて、2回も大きな水害に遭った。妻はもう住みたくな」と言っている。後片付けに2カ月かかるでしょう」とあきらめの表情で語っていた。

同地区の西垣政昭さん(71)は自宅2階に避難。「水は1階の天井すれすれの所まで来ていた。前回の時より水位は高かった。命が助かって本当によかった」と話していた。

04年の大水害同様、自宅が浸水した北有路の鹿毛敬子さん(64)は自宅前の道路に水がつかない時点で、冷蔵庫を買ったばかりの近所の住民宅へ逃げた。何回水害を経験しても怖さは一緒。早いかなければならぬ堤防を完成させてほしい」と話していた。

大江支所 腰までつかる 2階で現地緊急対応

2階で現地緊急対応

9年前の台風23号と振り返る。当時の町役場が浸水して、京都市役所が地方事務所の水谷裕之氏に頼り、河守支所長は「早く大江町に入らう」として、無断で入った。1階部分が腰のあたりまで浸かった。府機関が借入していたが、早く業務再開できるようにしたいと話していた。

大江支所での市窓口業務が現在出来ない状況で、市役所本所と三和、夜久野支所と対応する。

大江の倉庫浄水場取水ポンプ故障 左岸一部地域で断水 大江町金屋の金屋浄水場の取水ポンプの稼働を要請して、舞鶴、高津、京丹波、与謝野の北強5市町から給水車各1台が駆け付けた。福知山の2台を合わせて同日午前6時から給水を実施している。

も受けて給水車を7台を走らせた。金屋浄水場の給水戸数は、関、下町、中央、清水、新町、蓼原、公庄、7口消費の146世帯、996人。取水ポンプは2カ所があり、低い場所にある1カ所の操作盤が浸水した。17日午前8時30分ごろから一部地域で断水が始まっている。中、下水道部によると、復旧までに少なくとも1日はかかるといっている。



浸水で家財道具などが部屋の中に散在する（大江町河守新町）



大江町河守の国道175号付近

平成25年9月17日 両丹日々新聞

ボートで35人を救出 石原で消防署員ら

床上浸水した家屋が多かった石原では消防に救助されたア山消防署員がボートを使い、家屋に取り残された人の救出活動をした。

16日午前5時20分以降、ボートで救出作業を開始。男女合計35人を救出した。

署員は「今すぐに助けに行きますからね」「けがはないですか」「まだ残っていませんか。おられたらタオルを降して下さい」と呼びかけている、家族を連れて避難

所へ車で逃げた。押し寄せる水は車内に入ってくるほどの勢いだ。雨が小降りになってきたため、自宅が浸水してはいないか見に行きました。山良川から遠いのでつかないかと思っていたので、まさか、まさかという思いです。私と妻の車のつひが水没しました」と困惑した表情を見せ

取り残された人たちがボートで救助



他市町の給水車も駆け付けた（きょう午前8時45分、大町江蓼原で）



車が完全に隠れるところまで浸水（石原）



ゆらのガーデン一帯も水に浸かった

新聞

2013年(平成25年)9月18日 水曜日

下天津もほぼ全域浸水

目の前は由良川 水防対策切実に訴え

台風18号の爪跡が大きい大江地域に連なる福知山市下天津地区が、今回も濁流にのめられた。地区は堤防などの水防対策が未着手の由良川に沿う形であり、住民からは、ため息交じりの声が漏れた。地区は堤防などの水防対策が未着手の由良川に沿う形であり、住民からは、ため息交じりの声が漏れた。地区は堤防などの水防対策が未着手の由良川に沿う形であり、住民からは、ため息交じりの声が漏れた。

下天津は、由良川左岸の下川口地区にある39世帯で、限界集落手前の状況にある小さな自治会。

昭和28年の大水害で被災したことをきっかけに、築堤などを囲や関係機関に訴え続けてきた。今年ようやく出

良川水系河川整備計画の対象となり喜んだが、計画期間は30年と

気が遠くなる話だった。今回は高台の2軒を残して水につかった。特に由良川横の国道175号沿いは、泥まみれの床上浸水。17日には親戚、近隣地区の住民らの手を借りての片

付け作業があちこち始まり、国道沿いに運び出された家財道具が並んだ。上流部の堤防完成により、水かさには9年前の台風23号の時より50センチ近くも上がったという。

で止まっていた。丹精込めて育てていた黒豆、小豆、大根は、もうそこにはない。愛する海が無残な姿に変わったあの時の惨劇が脳裏をよぎった。

また大切なもの奪われた

震災被災者 前川さん 戸田に借りた畑が全滅

「またか」。前川武美さん(60)は、全て水につかってしまった畑を見て、言葉を失った。東日本人震災で被災し、漁師の仕事を手を離れて、岩手県大槌町から福知山に移り住んで2年半。「災害が、また俺から大切なものを奪っていった」

猪崎のアパートは無事だったが、戸田に借りている2畝の畑が心配になり、雨が収まった16日夕方に様子を見に行った。

目に飛び込んできたのは、一面に茶色の水が広がる悲しい光景と流され、傾いた状態だった。手作りした農機具小屋は100層ほど格だと思っけど、さすがに落ち込んで頭が真っ白になった。それから、ろくにめしも食ってない

「自分は前向きな性格だと思っけど、さすがに落ち込んで頭が真っ白になった。それから、ろくにめしも食ってない」

しかし、このままではいけないと、水が引いた17日昼には小屋の撤去作業を開始。「立ち止まってても、どうにもならねえ。もう一回、小屋も畑も作り直してやる」。屋根のトタンを外しながら、力強く再起を誓った。



堤防のない由良川と並列する国道175号沿いに泥まみれの家財道具が並ぶ (17日撮影)



「やるしかねえ」と、小屋の解体に汗を流す前川さん

心を奮い立たせ泥と格闘

台風18号水害 立ち上がる人々

自発的に駆け付ける人も

国・府の視察、調査進む

台風18号の洪水被害を受けた福知山市内では、被災した住民たちが家屋からの泥かきや水浸しになった家財道具の運び出しなどに追われている。落ち込む心を懸命に奮い立たせながら作業が続く。自発的にボランティアに駆けつけた人たちの姿もある。市や府の本格的な災害調査が進められ、18日には政府調査団が視察に訪れるなど、復旧へ向けて動き始めている。(3面にも水害関連記事)

泥のかき出し作業
「人手がほしい」
甚大な被害が出た大
江町では、3階まで水
の入った家屋もあり、



ホイールローダーに、使えなくなった家具などを乗せ運び出す
河田さん

元の生活が出来るよう
になるまで相当な時間
がかかると思われ
江町では、3階まで水
の入った家屋もあり、

てしまうので、早く取
り除かなければなりま
せん」と、かき出し作
業に汗を流していた。
被災地には早くから
地元ボランティアが入
り、住民たちの支えに
なっている。

総出で行っている。
同町蓼原の新治弘子
さん(68)宅では、浸
水で自宅の骨がつか
り、壁が落ちた。「泥
か床上、床下に入り込
み、出すのに大変。き
まう(17日)は朝6時
ころから、おにぎり1
個を食べて作業をして
いますが、人手が足り
ません。早くボラン
ティアの方々に来て、
手伝ってくださるとあ
りがたいのですが」と
願っていた。

同町河守新町が実家
の岸和田裕次さん(53)
滋賀県湖南市は3
連休で帰省中に被災し
た。「前回(04年)の
水害の際は一気に水が
引いたので、泥も流れ
ていったが、今回は
ゆっくりと引いたの
で、泥が厚く残ってい
る。乾燥すると固まっ
た。除雪用のホイールロー
ターに乗り、水に浸
社員、藤原孝史さん
(27)は蓼原の民家で
片付け作業を手伝っ
たり、道路の泥を除去
したりした。18日も現
地で作業する。
河田さんは「いても
上がついていなかったの
で、単独で大江町に来
た。会社は火曜日
と水曜日が休みなの
で、18日も手伝いま
す」と話していた。

同町二俣三の河田亨
さん(53)は除雪車
オペレーター資格を
持っているため、少
しでも役に立てたらと、
17日に河守新町に入
り、午前中は家屋から
のゴミ出し、午後から
17日から大江町入り
いた。

兵庫県加西市から
駆け付けた人も
くまでに半年はかかる
と思います」と話して

平成25年9月18日 両丹日々新聞

家屋浸水は540戸

調査中でまだ増えそう

福知山市が18日午前9時30分現在、確認している家屋浸水は約540戸。大江町や旧市域の戸田、石原、興地区などに多いが、観音寺や私市なども被害が出ている。

被害が多く、また調査を進めている段階で、04年の台風23号時に家屋浸水した約600戸を超える可能性がある。

民家の裏山などが崩れた土砂崩れは5件を把握している。

田中丹広域農道など通行止め続く
道路関係は冠水など

の影響で18日午前9時30分現在、田中丹広域農道（さくら橋―観音寺）や府道舞鶴福知山線（池部―大江町二箇）が通行止めの状態。大江町の山良川右岸地域などの住民には、大雲橋や大江天河橋を使っての迂回を呼びかけている。

農業被害額は1億8300万円以上
田畑6500畝冠水

農業関係の被害も深刻で、市が17日に実施した由良川筋（観音寺―大江二箇）の調査によると、田畑が約6500畝冠水し、被害額は農業施設、作物など1億8300万円に上っている。

内訳は、農業施設がビニールハウス（全壊、半壊7棟）、西中筋ライスセンター1棟、製茶工場4棟など3735万円、水稲（1100畝）、小豆（33畝）など農作物が1億453

5万円余、家畜関係が1千万円。

被害件数、金額ともに、調査が進むにつれ、今後さらに増える見込み。

本庁舎や大江支所に被災者の相談窓口

市が台風18号特別対策チーム編成

福知山市は18日、職員20人からなる「台風18号特別対策チーム」を編成した。

市役所本庁舎1階に本庁、大江支所に大江支所班を設置し、被災

者の総合相談窓口とし、このほか、災害支援での役割を果たす。一冊、かれき特別班がある。

台風18号による被災者相談窓口



市役所1階に設置した本庁班

り、復旧作業に向けた対応にあたる。

業務を一部再開

大江支所

福知山市役所大江支所は18日午後1時から一部の業務を再開する。

災害ボランティア受け入れ開始

2カ所にセンター
被災地で泥のかき出しなどを行うボランティアを受け入れる災害ボランティアセンターが、18日午前福知山市戸田の戸田会館に開設された。

センターを立ち上げるのは福知山市社会福祉協議会、市など関係機関・団体で構成する福知山市災害ボランティアネットワーク連

絡会。当初は市内在住、在勤の人だけを受け入れることにしていたが、市外からの問い合わせ、申し出が多いため、市外からも受け入れることにした。

受付時間は午前8時30分から作業時間は9時から午後4時ごろまで。動きやすく汚れる。18日午後には大江駅前にもボランティアセンターを開設する。

ていい服装で。飲食などは各自で用意を。ボランティアセンターの電話は（27）1235、1236の2回線。主に戸田地区約90戸での活動を想定している。

おにぎりがうれしかった

戸田 人々が助け合い作業

福岡市戸田周辺で、なくなった子どもから大も、住民や他の地域の人までが協力し、泥や友人、親せきたちが駆水役して使えなくなっけつ、家から泥を出した家員などを集めた。したり、食へ物の差し、「大変なことになる、入れをしたりと、以前いでもたつてもいられの生活環境に戻すたなかつた」と、配出しめ、懸命に作業が行わを手伝いに来た人たちが大勢いた。

17日には学校が休み、災害時には外出して



手作りのおにぎりや卵焼きなどを持ち寄り、協力して作業を進めている。

いたというある家族は、16日昼に水の中を杖をつきながら自宅へ向かい、夕方ようやく苦しい。配出しの作業は夜まで続け、その間友人から手渡されたおにぎりを食べ、大変助かったという。

おにぎりの差し入れをした野佐の女性(38)は「自分が困っていた時、手作りのおにぎりやみそ汁が本当に温かかったのを覚えています。何をしていたか分からないけれど、自分でできることを考えました。一、家を気遣って、助け合いな

27歳の時から戸田地区に住み、現在は新興住宅地で暮らす戸田康男さん(72)は「家に水が70センチ上がってき

から集めています。みていた。なさんが協力して下り、石原の明治牛乳神田センターでは、従業員10人ほどで復旧作業をし、18日から、部(66)は、23号の時は、ここまですからなかつて、何とか道を開けてもらい、ありがたいで、思っ

少しでも力になりたい

府立工の石原で片付け手伝う



がれきの撤去作業に汗を流す工業高校の生徒たち

落ち込んだ心に元氣運ぶ

ほくたちも何か力になりたい。家や車が多数浸水し、後片付けに追われる福岡市石原地区に17日、近くの府立工業高校(田中邦明校長)の生徒たちが訪れ、被災者宅の片付けを手伝った。

授業が終わったあと、運動部の1、2年生約50人と志願した3年生10人の計60人ほどが参加。流木のほか泥

水につかった假、家具などをこみの取集場所まで運んだ。運んで来てくれたと、力になれたらうれい」と懸命に汗を流していた。



2013/9/16 Asia Air Survey CO., LTD

浸水家屋 860戸に

台風18号
水害

大江、遷喬などの49自治会

台風18号水害による被害は、調査が進むにつれ増え、大雨から丸4日が過ぎた現在も全容が明らかになっていない。福知山市の調べによると、19日午後4時現在での浸水家屋数は約860戸に上る。このうち床上浸水は約640戸で、04年秋の台風23号時の755戸に迫っている。上など

ほぼ全域が浸水した土自治会。左下がJR山陰線と府道福知山綾部線（16日午後4時過ぎアジア航測株式会社撮影）

自治会のほほすべての家屋が浸水したところもあり、復旧するまでかなりの時間がかかりそうだ。

市災害対策本部（危機管理室）によると、台風23号の災害時は、山間部での土砂崩れなども多かったが、今回は、由良川筋に被害が集中した。音無瀬橋近くの由良川の水位は観測史上最高の約8.3メートルに達し、市街地地域でも氾濫する寸前だった。

市では、各自治会長から浸水家屋などの報告を受ける一方、ヘアでの10チームが被災地区を回り、床上、床下浸水家屋の確認をしている。

浸水家屋の内訳は床上が約640戸、床下

約220戸。浸水家屋があったのは49自治会で、大江町の3学区が35.6%、遷喬学区が31.7%になっている。

市災害対策本部では「台風23号のときのよ

- 三、同三河、同清水、同田、同高津江、同北三、大江町金屋、三和町大
- 同二箇下、同千原、同同北二、同常津、同波原、牧、高畑、大江町
- 北四、同下町、同北一、美、堀口、大江町関、夏間、三和町下川合、
- 同二箇上、同南二、同善巻、池部、蛇ヶ端、同上川合、上荒河、中
- 日藤、安井、大江町在 大江町南四、下荒河、下猪崎

平成25年9月24日 両丹日々新聞

環境パークに大量搬入

水害のごみ 分別し埋め立て少なく

台風18号の水害で浸水した家などでは片付け作業が進められ、使えなくなった家具や家電などが、福知山市牧の市環境パークに運び込まれている。21日から23日の連休中には、一日500トンの災害ごみが運び込まれた。

災害ごみの受け入れは17日から始めたが、本格的に運ばれるようになったのは21日から。埋め立て処分場の一部には、家電リサイクル法で定められた冷蔵庫、テレビ、エアコン、洗濯機をいったん保管するスペースを作った。

できるだけ燃えるごみ、燃やさないごみ、粗大ごみなどに分別して搬入し、埋め立てる分は最小限になるよう

にしている。市環境政策室は「ごみは連休中が特に多かったのですが、これから徐々に少なくなっていくと思う」と話している。

問い合わせは、電話(22)1837の市環境パークへ。



冷蔵庫やテレビなどのリサイクル家電もたくさん持ち込まれ埋め立て処分場の一角で保管している

平成25年9月27日 両丹日々新聞

目的達成し きょう閉鎖

台風18号 ボランティアセンター

9日間で5600人が活動

「たくさんさんの支援に感謝」

派遣要請に10倍の人

台風18号で被災した人の生活復旧支援のために開設した福知山市災害ボランティアセンターで、約5600人のボ

ランティアが協力して、約5600人のボランティアが協力した。9日間で派遣要請約520件に対し、約5600人のボランティアが活動した。

派遣地域は、興、石原、戸田、七、川北、



多くのボランティアが被災地で活躍した

下天津と、大江町全域。浸水後の泥かき、ふき掃除、家財道具の搬出などが主な活動内容になった。

ボランティアは全国から集まった。3連休となった21、22、23日が特に多く、1日1千人を超えて、3日間で約4100人を数えた。センターを運営する市災害ボランティアネットワーク連絡会事務局の市社会福祉協議会は「たくさんのご支援をいただきありがとうございました」と、全ボランティアに感謝した。

**平成25年
台風第18号災害時の保健所活動**

平成26年3月

京都府中丹西保健所（中丹広域振興局健康福祉部）

〒620-0055 京都府福知山市篠尾新町1丁目9番地

企画調整室	TEL.0773-22-5744	FAX.0773-22-4350
保健室	TEL.0773-22-6381	FAX.0773-22-0429
福祉室	TEL.0773-22-3903・5766	FAX.0773-22-4350
環境衛生室	TEL.0773-22-6382・6383	FAX.0773-22-0429
食肉・試験検査室	TEL.0773-22-6384	FAX.0773-22-0429



